

建築本部の取り組み

大成ロテックの建築部門では、これまで数多くの建築物件を施工してきました。

2022年度に建築本部が設立され、事業として成長するべく、より一層の実績を積み重ねてきました。

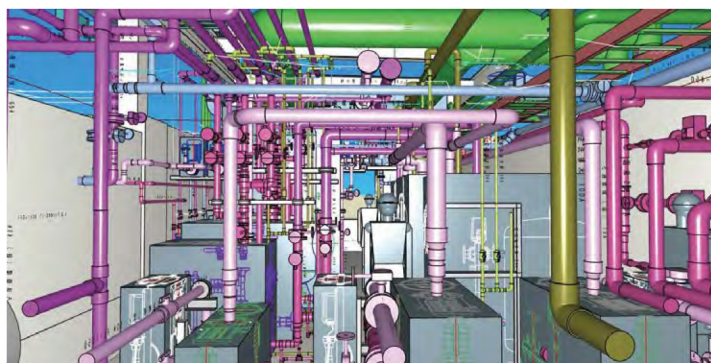
2022年度には、鈴鹿サーキット内のホテルの温浴施設を完成させることができました。本業とのシナジー効果が期待できる案件であり、建築本部の新たな取り組みの一つとして大きな実績を残すことができました。特に、建築・設備工事における品質管理や技術力の向上に取り組んだ事例を紹介します。

3Dモデルの作成

既存建物からの改善

既存建物の使用勝手について発注者からヒアリングを重ね、設計者とも打合せを実施し、使用勝手に合致した設備機器・配管の配置を提案しました。

3Dモデルを作成し、発注者および設計者と協議を行うことで、建築・設備の取合の検討や、完成後のルートを含めたメンテナンスの効率化を図ることができました。



鈴鹿サーキットホテル温泉棟「THE SPA」工事

施工事例の確認・改善案の検討

本工事は、外部屋根の軒天井、外壁の縦格子、内部ロビーの天井に地元の三重県産ひのき木材を使用。特に外部に使用するひのき木材は、経年変化に対応するべく、既存建物の視察、乾燥方法、塗装材料の選定に注力しました。

国立競技場でも使用している乾燥方法(右写真)、塗装材料を使用しています。その結果、経年変化にも対応でき、ナチュラルモダンテイストで統一された温かみのある仕上がりとなりました。



お客様の満足のために

内外装ともに意匠性が高く、短工期の施工でありましたが、発注者および設計者との細かい打合せを重ねたことで、発注者に満足いただける建物を完成することができました。

現場担当者の声

工事管理には大変苦勞をしましたが、利用者も大変満足されていると聞き、非常に感慨深い思いをしています。

